

日本緩和医療薬学会主催 PEOPLE プログラムについて

本研修会は緩和ケアに従事する皆さんをご支援したいと、態度教育に焦点を当てて開発した薬剤師向けの教育プログラムです。

研修内容は、グループワークやロールプレイなど、集合研修でしかなし得ない参加者相互の学習を研修の柱としています。

PEOPLE (「Pharmacy Education for Oncology and Palliative care Leading to happy End-of-life」)には、「知識ばかりではなく、薬剤師も態度を磨いて積極的に人々に関わりたい」「薬剤師のかかわりで一人でも多くの患者さん、ご家族が Happy になれるように」という希望と、「患者さんの幸せな最期をリードできるような人材を育成するためのプログラムを提供したい」との思いが込められています。

そんな皆さんの学びを全力でお手伝いさせていただきたい！という溢れる気持ちで開催致します。なお、皆さんのお力をフル活用して研修会に臨んでいただけますよう、事前課題を準備しています。奮ってご参加ください。

お会いできます日を楽しみにしています。

教育研修委員会委員長 川村 和美

1. 研修会開催予定

2014年度の研修会は終了しました。2015年度の研修会は東京、名古屋、大阪で開催予定です。日程等はホームページ上でご確認ください。

2. PEOPLE プログラム スケジュール

開始時間	終了時間	セッション	形式
9:00	9:10	はじめに	
9:10	9:40	アイスブレイク	
9:40	11:00	疼痛・症状マネジメント	S G D
11:00	11:10	休憩	
11:10	13:00	コミュニケーション	R P
13:00	13:40	昼食・休憩	
13:40	15:20	在宅緩和医療と地域連携	W C
15:20	15:30	休憩	
15:30	17:10	包括的アセスメント	S G D
17:10	17:20	閉会式	

3. 受講対象者

- ・緩和医療に携わる病院、保険薬局薬剤師
- ・特に、薬物療法認定取得者および認定を目指す者
- ・参加人数 30 名（病院 20 名、薬局 10 名）

4. 各セッションの学習目標

() 疼痛・症状マネジメント (SGD ; スモールグループディスカッション)

- ・症例を通して、痛みのメカニズム、WHO のラダー、鎮痛薬の使い方 (オピオイド・NSAIDs・鎮痛補助薬の薬理・動態、相互作用・副作用管理、オピオイドローテーション、レスキューの使い方) の知識を活かす



() コミュニケーション (RP ; ロールプレイ)

- ・ ロールプレイを通して自らのコミュニケーションスタイルを見直すとともに、がん・緩和領域における難しい患者対応をトレーニングする。
- ・ 他職種と円滑にコミュニケーションを図れるように、医師対応をトレーニングする。
- ・ 各々にバックグラウンドを持った患者役や医師役を真剣に演じることで、相手の気持ちや心の動きを擬似体験する。







() 在宅緩和医療と地域連携 (WC;ワールドカフェ)

- ・地域連携 (薬薬連携) を進めるにあたり、病院勤務者と保険薬局勤務者、各々の立場から出来そうなことを事前に検討して持ち寄り、当日のグループメンバーとワールド・カフェの手法でブレインストーミングを行う。









() 包括的アセスメント

- ・ 倫理問題をも含む事例の検討方法(5分割表)を学ぶ 倫理的問題を可視化する
- ・ 症例について薬学的要因のみならず、さまざまな視点から、患者さんのQOL 向上に向かって幅広く検討する力を養う。また、臨床上で妥当性のある結論を導き出す判断力を磨く。





5 . 参加前の事前課題

下記のセッションでは、事前課題があります。

セッション（疼痛・症状マネジメント）：事前課題

セッション（在宅緩和医療と地域連携）：事前課題

セッション（包括的アセスメント）：事前課題

6 . 参加者の声

- ・楽しかった
- ・こんな研修会出たことがなかった
- ・本当にためになりました
- ・もう一度、参加したい
- ・アドバンスコースを作ってください

7 . 今後の予定

第 1 回：関東甲信越地区（東京）

日程：7/26（日）

【星薬科大学】

第 2 回：中部地区（名古屋）

日程：8/9（日）

【名古屋記念病院】

第 3 回：近畿地区（大阪）

日程：9/6（日）

【淀川キリスト教病院】